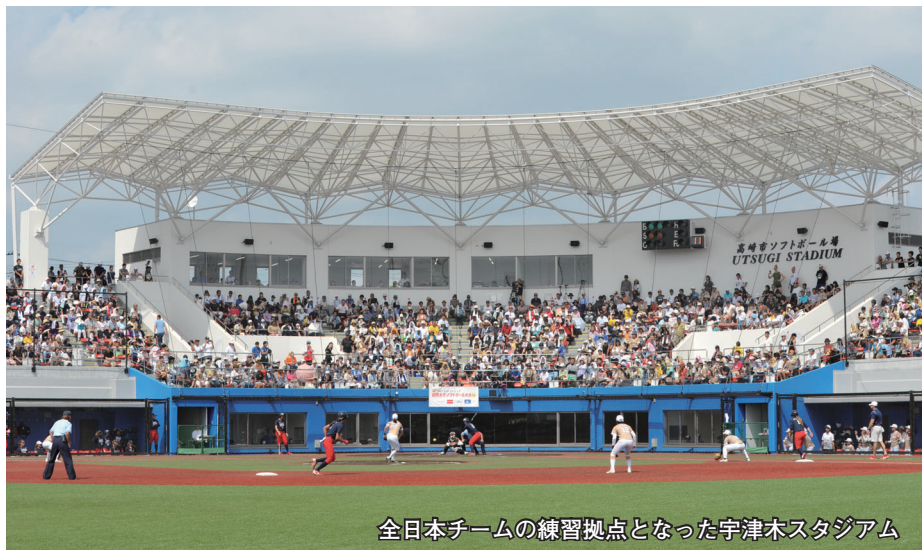




藤田 倭さん Yamato Fujita

ビックカメラ高崎所属。投手ソフトボール界の二刀流。オリンピックでは初戦から3試合連続でホームラン、決勝戦で2点目のタイムリーヒットを放った



全日本チームの練習拠点となった宇津木スタジアム

内藤 相手の球種などは事前に考えますが、打席に入るときは無心です。考え過ぎても打てないので。
市長 なるほど。不動の4番の山本さん。2試合でホームランを打って、責任を果たしました。決勝戦ではドラマチックな場面がありましたね。終盤の緊迫した場面で、鋭いライナーの打球がサードの山本さんに当たってはいじかれた。そのボールをそのままショートがキャッチしてアウトにしたでしょう。奇跡でしたよね。
山本 神様はいるんだと思いました。
市長 相当速い打球でしたが見えていましたか。
山本 打球が飛んだ瞬間、反応はしましたがボールは見えてなくて、とにかくベースカバーに入らなくちゃ。
市長 あのプレーで勝負が決まったようなものでしたね。それから原田さんは今回、太陽誘電から唯一の選出で頑張ってくれました。会社への



我妻 悠香さん Haruka Agatsuma

ビックカメラ高崎所属。捕手日本代表チームの捕手として、上野・藤田・後藤の3人の投手陣を支えた。メキシコ戦ではタイムリーツーベースヒットを打った

報告は？
原田 帰った翌日に行きました。皆さんとても喜んでくれて。
市長 そうでしょうね。どんな気持ちで大会に臨んだんですか。
原田 次のオリンピックでは正式種目から除外になると分かっていましたが、金メダルを取ることで必ず先につながると思って臨みました。
それぞれの思い出のシーン
チームが一つになった瞬間
市長 大会を通じてどんなシーンが印象に残っていますか。「しまった！」なんていう場面もあったでしょう。
内藤 「しまった」の方だと、予選のカナダ戦ですね。最終回の7回裏ツーアウト満塁の打席で、一打サヨナラという場面。それまであまり緊張はなかったんですが、あの一瞬だけは緊張感がありました。内野フライで延長戦になったのですが、ボール球を振ってしまっただけで、そこを見極

められていたらなど。
市長 悔しい場面でしたね。山本さんは？
山本 やっぱ決勝戦です。予選で結果が出なかった選手が活躍できたことが、日本が勝つ要因かなとすごく感じます。自分たちがやりたい試合運びが全部できた試合でした。
市長 決勝点を生んだピッチャー越えの安打なんて、執念でしたよね。
原田 原田さんはどうですか。
原田 全部印象に残っていますが、決勝戦でツーアウトを取った時のみなどの声かけの場面ですね。あとアウト一つで金メダルという瞬間、みんなが本当に同じ気持ちになってきたのをすごく感じました。このチー



金メダル獲得に沸く ソフトボールシティ高崎

東京 2020 オリンピックで、ソフトボール日本代表チームが見事金メダルを獲得。日本中に感動を与えました。本市に拠点を置くビックカメラ高崎と太陽誘電に所属する選手も大活躍。市は、選手やヘッドコーチなど13人に市民栄誉賞を贈ることを決定しました。今回は、大会に出場した選手の方をお迎えし、大会の様子や全日本チームの高崎での練習、今後の目標などを伺います。



13年ぶりの五輪で金メダル
日本中が興奮の渦に
市長 皆さん、おめでとうございませう。いやあ、興奮しました。市民の皆さんも感動したと思いますよ。私もずっと緊張しながらテレビで応援していました。本当に良かったです。一同 ありがとうございます。
市長 まず藤田さん、ソフトボール界の二刀流として大活躍でした。イタリヤ戦では投手で先発、大会を通して3本のホームランを打った。実際投げるのと打つのではどちらが楽しいですか。
藤田 うーん、ピッチャーですかね。
市長 もっと投げたかったんじゃないですか。
藤田 いえ、この大会を通して自分のできることはやれたので、満足しています。
市長 決勝戦では勝つ自信はありましたか。

藤田 はい、最後は勝つと思いましたが。本当に立派でした。続いてキャッチャーの我妻さん。決勝戦でゲームセットのファウルフライを取ったのは、我妻さんでしたね。ボールを取った瞬間は何を考えたか。我妻 上野さんのところに走っていかないと思っていました。ボールが落ちてくるのを見ながら、一方で上野さんがマウンドから走ってくるのも見えていたので(笑)。
市長 それはリアリティがあるなあ。内藤さんと山本さんは3番4番の主軸ですね。お二人はこぞというときに必ず打ってくれるので、安心して見ていました。すっかりファンになりましたよ。
内藤 ありがとうございます。
市長 試合中は、何を考えているんですか。やはり打たなければという気持ちなんですか。



富岡 賢治市長 Kenji Tomioka


スポーツで高崎を盛り上げたいと考えている。令和元年ソフトボール専用球場・宇津木スタジアムを整備。子どもたちの国際試合を計画するなど、ソフトボール振興を支援している



原田 のどかさん Nodoka Harada

太陽誘電所属。右翼手
日本代表チームのムードメーカー。身体能力が高く、安定した守備と長打力が持ち味。高校時代には女子野球ワールドカップで優勝経験がある

内藤 私は国体メンバーにも入っているのですが、群馬県代表として頑張ります。
我妻 オリンピックでまた多くの人の注目にもらったと思うので、ソフトボールの楽しさをいろいろな人

新型コロナ感染症対策を取り、参加者の皆さんの了解を得た上でマスクを外して撮影しています
対談の様子を動画でご覧いただけます


市長 そうですね。再びオリンピックの正式種目として復活するには時間がかかるかもしれませんが、やはり子どもたちを通じて、国内外にも広めていかなければいけない。市としてもソフトボール振興のためにできることを考え、15歳以下のチームの世界大会を定期的に開催しようかと企画しているんです。ヨーロッパや北米だけでなく、南米やアフリカのチームも呼ぼうと計画して、元全日本監督の宇津木妙子さんにも相談しているんですよ。さて最後になりますが、皆さんの今後の目標をお願いします。
山本・藤田 まずは日本リーグ優勝です。

市長 そうですね。今は国際試合がないので、まずは日本リーグの試合をぜひ見てほしいです。
原田 オリンピックで経験したことや感じたことをチームに持ち帰って、さらに強くなれるよう練習していきます。
市長 以前まちなかを散歩していた時に、選手たちがランニングしている姿を見かけたことがあるんです。皆さんのようなゴールドメダリストが高崎のまちを歩き交っていると思うと、わくわくしますよ。皆さんの活躍で、ソフトボール界をさらに盛り上げてください。本日はありがとうございます。
一同 ありがとうございました。



チーム一丸となって獲得した金メダルを手に最高の笑顔



内藤 実穂さん Minori Naito

ビックカメラ高崎所属。一塁手
2018年世界選手権、アジア競技大会出場。オリンピックでは初戦のオーストラリア戦で勝ち越しの2ランホームランを放った

ムでここにいられることが幸せだなあと、大会中ずっとわくわくした気持ちで戦っていました。
市長 それはめったに経験できない瞬間ですね。藤田さんは？
藤田 上野さんの誕生日に打ったバースデーアーチが一番良かったです。
市長 藤田さんにとって、やっぱり上野投手は特別な存在なんですね。
藤田 そうですね。上野さんの背中を追って、チームを移籍したということもありますし。
市長 誕生日だから打ってやろうと思っただけ？
藤田 狙ってました。本当に打るとは思わなかったですけど(笑)。
市長 そういう気持ちを持っているのはすごいことです。我妻さんはいかがですか？
我妻 私はカナダ戦です。試合開始時点で体調が悪かったんですが、なぜか打たれても全然動じなくて、次

を押しさえれば何とかなるくらいの気持ちでした。結果的にはそれが良かったのかもしれませんが。体調が悪くても頭は働くんだと実感した試合でした。
市長 我妻さんは決勝戦だったかな、パスボールがあったでしょう？上野さんが本塁でタッチアウトにした場面。あの時は頭が真っ白になったんじゃないですか？
我妻 やばいって思ったんですけど、振り返ったらバックネットに跳ね返ったボールがすぐそこにあっただけ、これはアウトにできると思っただけに上野さんに投げました。
市長 あの瞬時の反応は素晴らしいですね。先ほどの山本さんのシーンもそうですが、ほんのわずかな差が勝敗を分けるんですね。
競技の振興に向けて高崎から世界に発信を
市長 浜川運動公園に整備したソフト

トボール専用球場の宇津木スタジアムは、使い勝手はいかがですか？
山本 とても使いやすいです。全日本の本合宿でもメイン球場とサブグラウンド、屋内の屋根付きグラウンドの3か所まで、みっちり練習させていただきました。市民の方が散歩がてら見に来てくれるのもうれしいんですよ。
市長 日本リーグの試合前に拝見したことがあります。トップアスリートの練習はすごいですね。あのスピード、スタンドからでもカーブがぎゅんと曲がるのが分かるんです。ぜひ子どもたちにもあれを見せてあげてほしいんですよ。みんな感激すると思います。
藤田 ソフトボールは北京オリンピックの後、正式種目から外れて競技人口が減ってしまったと思うんです。未来の子どもたちにこの競技をつなげていくことが大事だと思います。



山本 優さん Yu Yamamoto

ビックカメラ高崎所属。三塁手
日本代表チームの不動の4番打者。オリンピック初戦のオーストラリア戦と第3戦のイタリア戦でホームランを打った

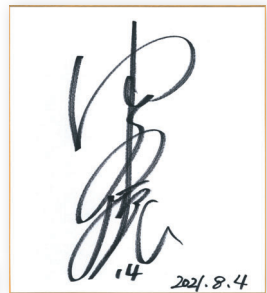
サイン色紙プレゼント

今回対談に参加した選手5人のサイン色紙(各2人)を、市内に在住か在勤、在学の人を対象に、プレゼントします。
【応募方法】
9月3日(金)までに、はがきかEメール (kouhou@

city.takasaki.gunma.jp) に、住所・氏名・電話番号・希望する選手の名前・ご意見やご感想を書いて、〒370-8501 高崎市役所 広報広聴課へ。応募は1人1枚までで、応募者多数の場合は抽選します。当選は発送をもってかえさせていただきます。



山本 優さん



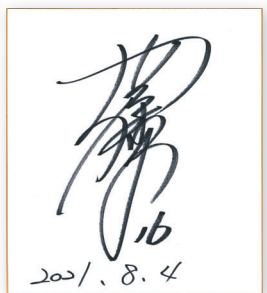
内藤 実穂さん



我妻 悠香さん



原田 のどかさん



藤田 優さん